

# 愛知県周産期医療協議会調査研究事業

## 「愛知県における新生児医療ネットワークの構築に関する検討」

### 平成24年度報告書

## 平成 24 年度 研究課題「愛知県における新生児医療ネットワークの構築に関する検討」報告書

名古屋第二赤十字病院 田中 太平  
名古屋大学 早川 昌弘  
愛知医科大学 山田 恭聖

進歩のめざましい周産期医療において、施設間での情報交換や交流は重要と考えられるが、全国的に見ても、地域で周産期医療ネットワークを構築しているところは少ない。今回、愛知県内の総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターを中心とした 19 施設によって、愛知県における新生児医療ネットワークづくりを行ったので、その概要について報告する。

平成 24 年 10 月 5 日に第 1 回全体会議を開催した。19 施設のうち 16 施設が参加し、新生児医療ネットワークの構築の趣旨を説明後、その構築方法と運用について討議を行った。新生児医療ネットワークの名称は「東海 NeoForum」と決まり、名古屋大学医療管理学寄附講座杉浦伸一先生の協力によって、インターネット上にセキュリティーシステムを備えた東海 NeoForum のホームページ (HP) を開設することとなった。その後、東海 NeoForum を通じて、アンケート調査や意見交換が行われ、平成 25 年 3 月 25 日に第 2 回全体会議が開催された。19 施設中 12 施設が参加し、東海 NeoForum のアクセス方法の課題や各 WG について報告が行われ、平成 25 年度に向けての意見も交わされた。

平成 24 年度は東海 NeoForum の構築、HP 作成が目標とされ、平成 25 年度以降から実際的な活動を行ってゆく予定となっている。

### <東海 NeoForum 設立の目的>

施設間での情報交換などを目的として、新生児医療ネットワークを作ることとなったが、東海 NeoForum の果たすべき役割や課題など長期的に検討してゆくため、各施設を 5 つのワーキンググループ (WG) に振り分け、それぞれのテーマに基づいて、東海 NeoForum の HP を通じてインターネット上で検討を行った。

ワーキンググループ	責任者	分担者
1) 教育	早川昌弘	鈴木悟、杉浦時雄
2) 施設情報データベース	佐橋剛	大城誠、小久保稔、家田訓子
3) アンケート調査	加藤有一	幸脇正典、中島佐智恵、大野敏行、山田緑
4) 施設交流	田中太平	宮田昌史、林誠司、後藤楯信
5) 他職種とのコラボレーション	山田恭聖	山本ひかる、竹本康二

### <東海 NeoForum の HP の構成とシステム>

#### 1) HP の作成

東海 NeoForum HP の作成およびその後の修正については、名古屋大学医療システム管理学寄附講座に依頼された。

#### 2) 登録対象者

東海 NeoForum HP は、愛知県周産期医療協議会の HP 上に提示されているが、東海 NeoForum の施設代表者に限定して登録が行われた。従って、現時点においては、閲覧、投稿を行えるのは登録者に限定されている。HP の試験運用を経て、今後、周産期に関連する医療従事者に門戸を開き、登録者

を募る予定としている。なお、部外者の登録を防ぐため、登録者の確認を田中が行うこととなった。

### 3) 東海 NeoForum HP の構成

#### ■ NICU 医師のディスカッション

会議の案内、各種メッセージなどを分類するために7つのカテゴリーを作成した

##### 1) ~5) WG 別の5カテゴリー

教育、施設情報データベース、アンケート調査、施設交流、他職種交流とのコラボレーション

##### 6) メッセージボード

東海 NeoForum のメンバーに伝えたいこと、質問など自由に投稿できるようになっている

##### 7) サイトの使用方法

サイトの使用方法について解説されている

その他、NICU サイトの利用、運用に関するアイデア募集、共同研究に関する意見募集に対する

カテゴリーも作成された

※ 投稿もしくはコメント入力すると東海 NeoForum に登録された全員へメッセージが配信される

※ 投稿内容が複数の WG に関与する場合、投稿時に WG を複数選択すれば、それぞれの WG にも配信される

#### ■ NICU 医師らの Wikipedia

発信したい情報、共有を求める情報について自由に記載することができる。

照明の演色性について投稿が行われた。

#### ■ 発表データの共有サイト

学会などで発表した内容をについて投稿してもらい、情報を共有する。

アクセスポートの消毒方法、HTLV-1、HBV 母子感染予防などについて投稿が行われた。

#### ■ 東海 NeoForum アンケート

MRSA 感染症、空調に関するアンケート調査が行われた。

### <各 WG からの報告事項>

#### 1) 教育WG (担当: 早川昌弘、鈴木悟、杉浦時雄)

周産期医療従事者に対する教育は次世代育成という観点からは極めて重要性が高い。資料の準備や情報収集に多くの時間を費やしてしまうため、東海Neoforumを利用して効率よく教育に関する準備などがおこなえることを目指す。具体的には以下に示すものが考えられた。

- # 1. 医学部学生、看護学生などの系統講義や講演の資料の共有
- # 2. NCPR講習のスケジュールを広報
- # 3. 各種研究会 (大学単位でおこなっているものも含めて) の広報
- # 4. 東海Neoforum主催の症例検討 (Web上が適当か)
- # 5. 周産期専門医受験体験記 (受験対策など)

最初にあげたスライド資料の共有はWebを用いることで効率よく資料が共有でき、資料作成にかかる時間節約となる。また、最後にあげた専門医受験体験記の掲載はこれから専門医を受験する若手医師にとっての有用な情報になると思われる。

## 2) 施設情報データベースWG (担当: 佐橋剛、大城誠、小久保稔、家田訓子)

データベースを活用して、情報のアクセス、分析を促し、周産期医療施設での情報に対する付加価値を上げて行くことを目的として、以下の項目について検討、実施していく予定としている。今後、情報のやりとりが活発化すれば、自然とデータベースの基礎となる情報が増えてくると考えられる。

### # 1. データベースの内容

#### 1) 愛知県の周産期活動としてのデータベース

各施設毎の体重別、週数別の生存率、死亡症例の登録

治療対象 (外科疾患、心疾患、脳外科疾患についても)

治療方針 (在胎週数が何週以降から積極的に治療しているか)

入院搬送 件数 転院搬送 件数

#### 2) 今までのネット上での活動をうまくデータベースとして活用できる物にする

MRSAの感染対策など

#### 3) 愛知県の周産期施設が必要とするデータを蓄積と公開

### # 2. データベースの情報抽出方法

アンケート形式など

### # 3. ネット上での公開方法

データベースの検索機能などを含めて、わかりやすく抽出しやすい公開方法を考える。

## 3) アンケート調査WG (担当: 加藤有一、幸脇正典、中島佐智恵、大野敏行、山田緑)

全フォーラム参加施設によるアンケート調査を実施することにより、不必要な施設間相違を排除し、意義の高い標準化を目指す。また、直面する諸問題への解決策を模索するうえで有効な手段となると同時に、拠り所となる新生児医療の総意を形成することに寄与する。加えて、様々な情報交換を促進することにより当地域の新生児診療ネットワークの形成を実現するものである。

- 要望に応じたアンケートを作成実施し、その結果を可及的速やかに報告する。
- フォーラム内施設の意見をよりの確に反映し総意としての質を高めるため、回収率改善に努める。
- 個人情報や倫理面でのアンケート内容確認とその結果が与える影響について管理する。

### # 1. アンケート方法

#### 1) Web サイトを利用したネット運用。

- フォーラムサイト内でアンケート可能なツールを活用する。
- ただし前回使用できなかった経緯もあり一度実施確認が必要。

#### 2) 情報は Forum 内オープンとする。

#### 3) 個人情報に関わる内容は含まない。

#### 4) フォーラムメンバーからの要望に応じて実施する。定期的実施を維持するかどうかはその有効性と負担を今後検討する。

### # 2. 活動実績

MRSA に関連した病棟感染対策の実情 (別紙参照)

### # 3. 今後の取り組み

#### 1) web アンケートの運用

- 2) 定期的アンケートの実施
- 3) 他のWGとのコラボレーション
- 4) 多職種を巻き込んだアンケート

#### #4. WG内担当委員構成

- アンケート実施委員 : 実際のアンケートの質問内容作成、集計、報告書作成を行う。アンケート毎に責任を明確にして、迅速な完遂を図る。
- 回答率向上委員 : アンケート回答率改善に特化して活動。
- 広報委員 : フォーラムメンバーからのアンケート要望への対応やアンケート結果の報告、およびその他各種アンケートに関わるアナウンス。

#### 4) 施設交流WG (担当: 田中太平、宮田昌史、林誠司、後藤楯信)

米国では、地域間格差が比較的少なく、画一的な管理方針に従って治療が行われることが多いため、治療方針の是非についても検討しやすく、多施設共同研究も行いやすい。一方、日本の新生児医療については、各施設で独自の方針に従って管理、治療が行われていることが多いが、特に超低出生体重児の治療成績については海外をしのぐという状況で現在に至っている。ただ、海外の治療成績も年を追う毎に改善しているため、日本としてエビデンスをまとめてゆくためには、情報交換をもっと活発化することで、施設間格差を減らし、多施設共同研究を積極的に行ってゆく必要があると考えられる。また、施設間交流を行うことで、各施設で行っている細やかな工夫を共有し、治療成績のさらなる向上に結びつくことも予想される。

施設交流WGとしては、まず、医療スタッフの交流を施設間で行うことによって、学会発表やインターネットなどによる情報交換では補えない部分を補填し、有用と思われる情報については、セキュリティーの守られているフォーラムの中で情報公開してゆくことを目的とする。病棟見学、症例検討会、各種勉強会などを通じて、各施設での管理方法（呼吸管理、循環管理、水分管理、感染対策など）の実際を学び、それを自施設に応用することができると考えられる。

- #1. 施設交流を行うための施設群を決める。
- #2. 交流を行う時の対象項目や対象疾患など、あらかじめ目的を明確化した上で、相互見学を行う。
- #3. 施設交流を行って得られた情報について、フォーラムで明示し、情報の共有化を図る。
- #4. KIZENを行った結果として、有用だったか否かについて、後日検証を行う。

#### 5) 他職種交流WG (担当: 山田恭聖、山本ひかる、竹本康二)

NICUで働く医師以外の職種としては、看護師、臨床工学士、臨床心理士、保育士、メディカルソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、医療事務、WOC（創傷・オストミー・失禁 認定看護師）、ICN（感染管理専門看護師）などが想定される。まずは看護師、特に新生児集中ケア認定看護師を対象に以下の活動を計画する。

##### #1. ネットワーク間の交流

愛知県の新生児集中ケア認定看護師の組織である「親子井の会」とネットワークを構成し、将来的には、このメンバーにも本サイトに参画していただく。

##### #2. ネットワーク間の情報交換

「親子井の会」が定期的開催する勉強会の日程の案内をHP上に掲載したり、勉強会の内

容や資料などをアップする。

### #3. 新生児看護研究会との交流

新生児看護研究会を定期的開催しているので、その研究会に合同シンポジウムを企画し、参画する。

なお、次に想定される職種には、臨床工学士、臨床心理士、理学療法士、作業療法士などが上げられるが、他の職種に関しては、NICU 専属スタッフの有無や、それぞれの職種の病院間のネットワークのニーズについて、アンケートを中心に調査を行う。

○以下の課題についての調査を行い、東海ネオフォーラムが果たせる役割について検討する。

- ・ NICU 入院中の発達評価と発達支援の現状とネットワークの必要性
- ・ NICU 退院後の発達評価と発達支援、地域療育につなぐネットワークづくりの必要性
- ・ 地域保健師、訪問看護、MSW・在宅医療医との連携の現状とネットワークの必要性
- ・ NICU 卒業生の自閉性疾患の早期発見、早期介入の現状と地域ネットワークの必要性
- ・ ICN や WOC など、リンクナースの NICU への介入の現状と病院間ネットワークの必要性
- ・ NICU に携わる臨床工学士の現状とネットワークの必要性

最終的には、東海地区の NICU に携わる医師以外の職種の情報交換の場としても、本フォーラムを発展させたい。

#### <研究協力者>

名古屋市立西部医療センター	鈴木悟	名古屋市立大学	杉浦時雄
一宮市立市民病院	佐橋剛	名古屋第一赤十字病院	大城誠
海南病院	小久保稔	公立陶生病院	家田訓子
安城更生病院	加藤有一	豊橋市民病院	幸脇正典
半田市立半田病院	中島佐智恵	小牧市民病院	大野敏行
刈谷豊田総合病院	山田緑	藤田保健衛生大学	宮田昌史
岡崎市民病院	林誠司	聖霊病院	後藤楯信
トヨタ記念病院	山本ひかる	江南厚生病院	竹本康二
名古屋大学	杉浦伸一		